

TOKYO COLLEGE

共に考える。未来のかたち Shaping a Shared Future Together



講演者

Pascal SAINT-AMANS

ローザンヌ大学教授

フランス国籍。フランス国立行政学院で学んだ後、2007年に有害税制対策策定に加わるため経済協力開発機構(OECD)に入り、2012年から2022年までOECD租税政策・税務行政センター局長を務めた。在任中、「税源浸食と利益移転」(BEPS)プロジェクトを立ち上げ、多国籍企業のグローバル・ミニマム課税の確立に向けた作業を主導。現在、コンサルティング・ファーム、ブランズウィック・グループのパートナー、ローザンヌ大学教授、およびシンクタンク、ブリュッゲルの非常勤フェローを兼任。

講演会

Zoom
ウェビナー

分断が進む 世界における 国際租税の枠組み

この15年で、国際租税の枠組みは劇的に変化しました。租税条約や移転価格税制といった伝統的な制度が改定され、脱税や租税回避への対策を強化する新しいルールが導入されました。特筆すべきは、大規模な多国籍企業に対して15%グローバル・ミニマム税が課されることです。これらの変更はG20の指導のもとで100カ国以上で実施されており、各国間の租税に関する協力を促しています。地政学的な分断とグローバルガバナンスの課題の面において、これら改革はどのような影響を受けるのでしょうか。

2023.
10.20 (金) 16:00-17:30

司会 & 討議者

Michael KEEN

東京大学東京カレッジ
潮田フェロー



会場

Zoom ウェビナー

言語

英語(日本語同時通訳)

お問合せ

tokyo.college.event@tc.u-tokyo.ac.jp

要事前登録



事前登録は
こちらから



東京大学に新しく設立された「東京カレッジ」。世界の第一線で活躍する研究者や知識人を招き、市民の皆さんと一緒に未来社会の様々な側面について考える場を作ります。

Tokyo College aims to generate new knowledge to contribute to the creation of an inclusive society and spark deeper public engagement with the University.



facebook



twitter



Newsletter



東京大学
THE UNIVERSITY OF TOKYO



TOKYO
COLLEGE